

HAYABUSA

BACK TO THE EARTH



私たちと宇宙をつないだ探査機

HAYABUSA BACK TO THE EARTH

未踏の地をもとめた宇宙探検家。いま、故郷に還る…

2009 年製作 / 全天周映像 / 大阪市立科学館オリジナル作品「はやぶさ」 / 約 40 分
企画・制作：「はやぶさ」大型映像制作委員会

ストーリー紹介

「はやぶさ」は 2003 年 5 月に日本から打ち上げられた小惑星探査機です。「はやぶさ」の任務は、「イトカワ」という名の小惑星に向かい、その表面の岩石を採取して地球に持ち帰ることです。「イトカワ」に無事到着した「はやぶさ」は、岩石を手に入れるため、イトカワへの着陸を敢行しますが・・・

波乱と感動に満ちた「はやぶさ」の冒険の旅が、実写と間違えるほどのリアルなCGでドームいっぱいに広がります。

「はやぶさ」とは？

地球と月以外の天体から離陸を行うという、世界でも初めての偉業を成し遂げた探査機。地球の 10 万分の 1 というごく弱い重力環境下での着陸や 岩石採取、長期間に及ぶイオンエンジンの運転による少ない燃料での惑星間航行など、技術面でも世界初の挑戦をたくさん行った探査機です。

「イトカワ」とは？

探査機「はやぶさ」が調査目標とした小惑星。一般の小惑星は、火星と木星の間の軌道を巡っていますが、イトカワは、地球近くまで内側に入り込む軌道を回っています。イトカワが大多数の小惑星とは違う軌道にあるのは、ひょっとすると、過去に小惑星同士の衝突によって、現在のようになずれた軌道に移動したのかもしれないとも想像されています。

ナレーション紹介



篠田 三郎

Saburo Shinoda

1948 年 12 月 5 日生まれ。東京都出身
1965 年 大映 18 期ニューフェイスに合格。
1966 年 池田一夫監督『雁』でデビュー。
1974 年 『ウルトラマン・タロウ』の主人公で幅広い層の人気を得る。

主な出演作品…【映画】『金閣寺』『遠き落日』など、【テレビ】『山河燃ゆ』『武田信玄』など、【舞台】『細雪』『喝采』など、多数



プラネタリウム上映期間

2025.8.1→→→8.31

上坂浩光 こうさかひろみつ

1997年に㈲ライブを設立し、生命・宇宙などの科学映像やゲーム等のエンタテイメント映像など、様々な分野にチャレンジしている。アマチュア天体写真家としても活躍。小惑星探査機「はやぶさ」の探査を全編CGで描いた『HAYABUSA - BACK TO THE EARTH-』は、プラネタリウムで上映され大ヒット。劇場でも公開され、多くの人々に感銘を与えた。この作品は第52回科学技術映像祭文部科学大臣賞、映文連アワード2011・最優秀作品賞(グランプリ)を受賞。その後製作された作品も日本のみならず海外でも上映され数々の賞を受けている。また2025大阪・関西万博JAXAブースにてLEDカーブビジョン映像「月に立つ。その先へ。」の制作を行った。

JX金属 関崎みらい海星館

上坂浩光 監督
特別講演

「HAYABUSA-BACK TO THE EARTH-」
公開からの16年をふり返って

2025.8.3
13:00-14:00

会場 海星館展望室

プラネタリウムチケット(8/1~8/3)の印有使用問わず)を持参の方優先・無料



予約

プラネタリウムは予約が必要です(放映1か月前から可)。
海星館公式サイトまたは右の予約用QRコードを読み取りカレンダーからお選びください。

プラネタリウム	大人	高校生	小中学生
個人	500円	250円	100円

